



今週末！！練馬のツツジが見ごろを迎えます！

都内最大級 平成つつじ公園に1万6千株のツツジが咲き誇る

見ごろ 4月下旬ごろまで(写真は4月18日に撮影)

交通機関:

西武池袋線、都営大江戸線、地下鉄有楽町線
「練馬駅」下車、北口徒歩2分

ところ 区立平成つつじ公園(練馬1-17-6)

練馬1丁目にある区立平成つつじ公園(面積約8千800㎡)では、約600品種、1万6千株のツツジが見ごろを迎え、訪れる人たちの目を楽しませている。園内には高さ3mの若楓(わかかえで)や雲の上(くものうえ)をはじめ、2m程の大株のツツジが随所に配置されている。ツツジとともにハナミズキも開花し、視界いっぱい美しい花々を楽しむことができる。



今年は昨年に比べて10日ほど開花が早く、初夏の陽気により、一気に見ごろを迎えた。品種は、久留米ツツジ系が一番多く、これから来週の前半にかけてが一番の見ごろで、4月下旬まで楽しむことができそう。公園は通年開園で、入園無料。



【公園内の様子】

【平成つつじ公園】

西武池袋線・大江戸線練馬駅北口から徒歩2分のところにある区立公園。駅前を区の花である「ツツジ」で彩り、区民の憩いの場となるよう整備し、平成6年4月に開園した。面積は約8千800㎡、久留米ツツジ系を中心に約600品種、1万6千株が植栽されており、都内最大級。

ツツジの花は、例年3月上旬から5月中旬にかけて見ることができるが、公園内には特に久留米ツツジ系が多い。久留米ツツジは花色も豊富で、純白から濃赤・絞りなどバラエティーに富んでいる。今年は、4月上旬から咲き出し、今週末が一番の見ごろとなる。樹齢100年、高さ3mを超える若楓(わかかえで)など、大株も数多く植えられているほか、平戸系、霧島系、さつき系、野生種、アザレア、シクナゲ、五葉ツツジなども楽しむことができる。

【ここでしか見られない「練馬の鏡」、宇宙から帰還した「宇宙ツツジ」】

公園内には、ここでしか見られない品種「練馬の鏡」がある。平成つつじ公園の完成を記念して、(一財)久留米市みどりの里づくり推進機構 久留米市世界つつじセンターが練馬区のために命名した久留米ツツジで、福岡県久留米市の育成者の協力により作られた。花は一重で淡い丹紅色。明るく上品で、ほのぼのとした暖かさを持つ現代久留米ツツジの名花である。

また、日本初の女性宇宙飛行士、向井千秋さんが平成6年にコロンビア号で宇宙に持参し、持ち帰ったヤマツツジの種から育成され、向井さんの出身地群馬県館林市から寄贈された「宇宙ツツジ」もある。(花の時期がクルメツツジより早いため、残念ながら見ごろを終えている。)

【樹齢100年をめざして】

平成つつじ公園は、平成19年度に区政60周年を記念して公園の一部改修工事を行い、「宇宙ツツジ」を公園内に植栽すると合わせて土壌改良も行った。40年後に樹齢100年を超えるツツジが100本以上見ることのできる公園を目指している。

【問い合わせ】

環境まちづくり事業本部 土木部道路公園課 東部公園管理事務所 電話 03-3994-8141